



# 市場小だより



学校教育目標「健康で明るく 強く正しく 共に生きぬく子の育成」

令和2年5月7日

## 今こそ「共に」生きぬく時代

学校長 石田由美

新しい年度が始まって、もう1ヶ月が過ぎようとしています。4月、子供たちを迎えた満開の桜も、初夏の装いに変わりました。銀杏の木も日ごとにたくさんの緑の葉をまとっています。それでも何かしら寂しげに見えるのは、やはり子供たちの姿がないからでしょう。

新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休校の中、子供たちは毎日どのように過ごしているのか、教職員も考えない日はありません。また今回、緊急事態宣言が延長となり、臨時休校も延長となりました。子供たちの安全のため、社会生活の回復のためと考え、自宅で健康を維持し、生活習慣をリズムよく保てるよう、学習や運動の参考になる資料を5月11日(月)に各家庭に届ける準備をしています。不安やストレスといった言葉がニュースなどでもよく聞かれます。少なからず、みんなが生活する中で、我慢したり辛抱したりすることが増えていることでしょう。みんなが今のこの状況をなんとか乗り越えるために、「自分には何ができるのか。何をしなければいけないのか。」と自問する毎日です。様々な課題をはらむ状況で、気が滅入ってしまい中々プラス思考になれないこともあります。時折のニュースで、互いを鼓舞し応援し合うエールを送り合っている人の存在を知ることも多々あります。小学生が、自分のできる範囲で社会貢献をしている姿も目にします。すごいパワーです。「負けない」思いを感じます。「思いやり」があふれています。

できることは人それぞれ違いますし、以前のような生活通りにはいかないこともありますが、できることを増やしていきたいものです。保護者の皆様も、何かと大変でお忙しいとは思いますが、今の状況から子供たちの学べることもたくさんありますので、是非子供たちの心と向き合い、話し合ってみてください。5・6年生ともなれば自分なりの考えを持っているでしょうし、1～4年生も感じ取っていることが子供なりにあると思います。言葉にして、言葉をやりとりして、言葉を交わして、表現させてください(無理のないようにですが・・・・)。また、お子様のことなどで、ご相談などがございましたら、遠慮なくご連絡ください。

【子供たちへ】

今は、「ひとりで」頑張る時期です。でも「独りぼっち」ではありません。それぞれの頑張りが、「みんなで」頑張ることにつながります。また元気で学校生活を送る日々につながります。一緒にはいられないけれど、「心のキョリ」は近いです。

医療関係者の方々をはじめ、みんなの社会生活を維持するために頑張ってくさっているすべての方々に感謝し、これからの日々を乗り越えていきましょう。